

# 「男性介護者」との出会い

2021年6月15日（火）  
社会学部 コミュニティデザイン学科 大原ゆい

## 自己紹介



- ・専門  
地域福祉論、ボランティア論、社会福祉士
- ・テーマ  
地域で生じる諸問題を解決するための市民と専門家の協働のあり方についての研究  
地域活動の担い手づくりに関する研究  
ケアするコミュニティの形成についての研究
- ・フィールド  
家族介護者支援（男性介護者支援）  
住民主体のまちづくり計画作成 など

# 「男性介護者」とは誰か？

## 「男性介護者」とは？

- ・介護する男性＝ホームヘルパーや介護福祉士など介護・福祉の現場で働く男性専門職のこと？
- ・今回、テーマとするのは、専門職としてプロとして働く介護労働者のことではない。家族、妻や親、場合によっては子どもといった自分の身近な人のことをケアする男性、「家族介護者」としての男性のこと。
- ・在宅で家族を介護する男性は、実数で100万人を超え、同居の主たる介護者の割合で見ても30%を超えている（厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」）。

# 社会問題となった家族介護

大分県 朝日新聞 2019年1月11日 朝刊 23ページ

## 認知症の母殺害 起訴内容認める

大の67歳被告 初公判

昨年8月、大分市内の実家で母親を殺害したと、甲斐孝彦(仮名)大分市10日、大分地裁(有賀真博)で起訴内容を認めた。検察側は冒頭陳述で、母親がアルツハイマー型の認知症と診断されていたと指摘。犯行当日、母親が外出した。支度をしたことから甲斐

被告が制止し、「周りの人に迷惑をかけて家族を振り回す。暴力沙汰を起すのじいじ」と懇々と殺害したと主張した。検察側によると、母親は昨年5月に認知症と診断され、7月に要介護認定を申請したが却下された。甲斐側は母親には認知症が原因の妄想があったとして、「第三者に迷惑をかけるのではない」と主張し、起訴内容を認めた。甲斐被告が殺害後、自ら報知して自首が成立しているとして減刑をよう求めた。(小倉華)

## 介護殺人 加害者7割が男性

過去10年分析 孤立・ストレス

介護殺人は過去10年間で約1500件発生。そのうち約1000人が男性。過去10年間で約1500件の介護殺人が発生した。そのうち約1000人が男性。過去10年間で約1500件の介護殺人が発生した。そのうち約1000人が男性。

仕事感覚覚悟せず「頭貫つ自ら」一人で抱え

認知症の妻に暴力今も悔い

90代夫婦 風呂で死亡

日午後9時半ごろ、大田区南馬場4丁目、無断野次三回蔵(仮名)さん(88)宅、野次

仲間と話せる場必要

相談 旅行で気分転換

被告が制止し、「周りの人に迷惑をかけて家族を振り回す。暴力沙汰を起すのじいじ」と懇々と殺害したと主張した。検察側によると、母親は昨年5月に認知症と診断され、7月に要介護認定を申請したが却下された。甲斐側は母親には認知症が原因の妄想があったとして、「第三者に迷惑をかけるのではない」と主張し、起訴内容を認めた。甲斐被告が殺害後、自ら報知して自首が成立しているとして減刑をよう求めた。(小倉華)

仲間と話せる場必要

相談 旅行で気分転換

90代夫婦 風呂で死亡

日午後9時半ごろ、大田区南馬場4丁目、無断野次三回蔵(仮名)さん(88)宅、野次

大分県 朝日新聞 2018年12月15日 朝刊 33ページ

## 石岡の58歳被告 地裁判決

傍聴席から

介護5年 生活困窮の末に

要介護の夫殺害? 87歳妻も自殺か

「娘なんて産まなげ」

母の日記発見 でも憎みきれず

## 介護者支援への関心の高まり

- 家族介護者支援団体の増加
- 疾患別（一般社団法人全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会、レビー小体型認知症サポートネットワークなど）、対象別（男性介護者と支援者の全国ネットワーク、ヤングケアラー支援（日本ケアラー連盟））など多様な家族介護者支援団体の誕生。
- 当事者、家族、支援者によって「認知症関係当事者・支援者連絡会議」の発足（2017年）。コロナ禍での介護者実態調査やWEBを通じた情報発信、政策提言などに取り組む。
- 2020年3月埼玉県で日本初のケアラー支援条例成立。
- 最近では、ヤングケアラー（18歳未満）の支援法制定へ向けた動きも活発化。

→政策・実践の両面で家族介護者支援の仕組みが整備されつつある

朝日新聞 2018年11月18日 朝刊 10ページ

## 認知症介護 会話ロボお助

高瀬智也さん(仮名)

要介護の夫殺害? 87歳妻も自殺か

「娘なんて産まなげ」

母の日記発見 でも憎みきれず

朝日新聞 2018年12月15日 朝刊 33ページ

## 石岡の58歳被告 地裁判決

傍聴席から

介護5年 生活困窮の末に

要介護の夫殺害? 87歳妻も自殺か

「娘なんて産まなげ」

母の日記発見 でも憎みきれず

## 新しい家族介護の実態

全国初の介護実態調査  
(朝日新聞1968年9月14日)

冷遇・衰弱・不衛生...  
8千人が他人の世話に

ほしい話相手  
貴と納福住い

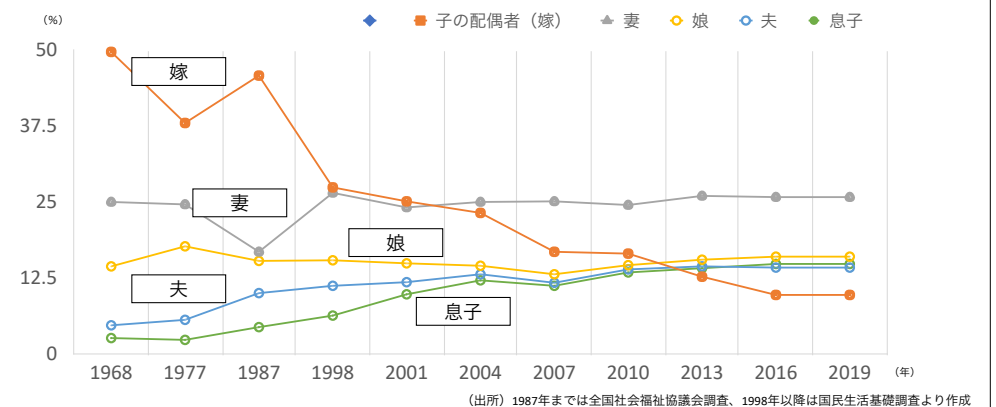
長寿嘆く20万人  
寝たきり老人

社会福祉協議会

## 全国初の介護実態調査（1968年）

- 1968年、初の全国規模の介護実態調査が行われる。「寝たきり老人実態調査」全国社会福祉協議会が実施。
- 特別養護老人ホーム全国に4500床（→2020年:57万床以上）。
- 介護者は子供の配偶者（嫁）が49%超、配偶者（妻）26%、娘が14%。「9割以上が婦人の肩にかかっている」。
- 介護する人は「若くて体力もあり家事も介護も難なくこなし、介護に専念する時間もある、何より家族の介護を担うことを自然と受け入れている」ような女性、専業主婦をモデル化。

## 誰が家族の介護を担っているのか？ -同居の主たる介護者の続柄別年次推移



## 新たな家族介護者の登場 -介護する家族の抱える問題

### ①男性化

介護者のうち3分の1が男性。「介護離職」が社会問題として認識されるようになる

### ②血縁化

主たる介護者が従来の「嫁」から「娘」「息子」に。

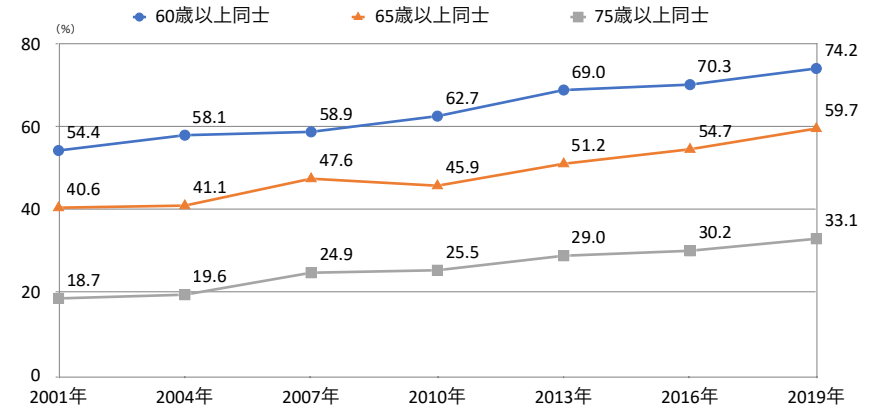
### ③多様化

老老介護、認認介護、ヤングケアラー、遠距離介護など。

### ④長期化・多重化

ダブルケア、トリプルケアなど同時多発介護状態に。

## 要介護者と同居の主な介護者の年齢組合せ



(出所) 厚生労働省「令和元年国民生活基礎調査」より (\*2016年の数値は熊本県を除く)

## ヤングケアラー 初の全国調査

2021年(令和3年)4月13日(火)

**相談できぬまま…孤立**

ヤングケアラーと自覚せずか

ヤングケアラーとは、家族の介護や世話を担う中高生や大学生のこと。調査によると、約4割のヤングケアラーが「お手伝い」として認識されがちで、介護専門職や家族も自覚のないままに頼りがち。支援法の制定や相談窓口の設置が各地で進む。

厚労省、初の全国調査

調査は全国の公立学校の2年生と私立高校(全日程)の2年生を対象に昨年2年で立1日平均4時間、12月以降に実施し、1万3777人から回答があった。世帯に介護が必要な高齢者がいる家庭は、世帯で介護する高齢者がいる割合が5.7%、相談できず孤立している割合が16.9%、自分の時間がとれない割合が20.1%、睡眠が十分にとれない割合が9.5%、友人と遊ぶことができない割合が6.5%。

厚労省、初の全国調査

大人の世帯に介護が必要な高齢者がいる割合は、約4割に達している。調査では、介護や世話を担う中高生や大学生の割合は、約4割に達している。調査では、介護や世話を担う中高生や大学生の割合は、約4割に達している。

## ヤングケアラー 家族の世話を担う子 中高生の20人に1人

厚労省、初の全国調査

大人の世帯に介護が必要な高齢者がいる割合は、約4割に達している。調査では、介護や世話を担う中高生や大学生の割合は、約4割に達している。

調査は全国の公立学校の2年生と私立高校(全日程)の2年生を対象に昨年2年で立1日平均4時間、12月以降に実施し、1万3777人から回答があった。世帯に介護が必要な高齢者がいる家庭は、世帯で介護する高齢者がいる割合が5.7%、相談できず孤立している割合が16.9%、自分の時間がとれない割合が20.1%、睡眠が十分にとれない割合が9.5%、友人と遊ぶことができない割合が6.5%。

- 初の全国調査実施
- 中高生の20人に1人
- 「お手伝い」として認識されがちなヤングケアラー
- 介護専門職や家族も自覚のないままに頼りがち
- 支援法の制定や相談窓口の設置が各地で進む

2021年4月13日朝日新聞朝刊

## 介護が必要な高齢者の実態

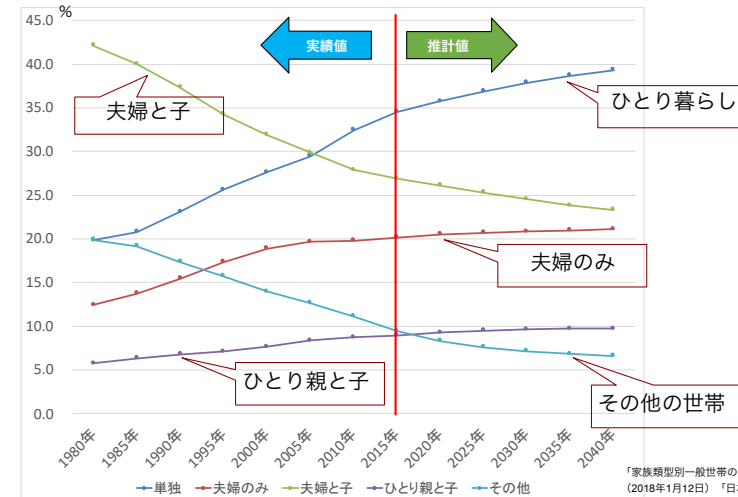
(厚生労働省「介護保険事業状況報告」2020年3月より)

- 要介護(要支援)認定者数: 668.6万人  
(うち男性211.0万人、女性457.7万人)
  - 日本の65歳以上の人口(3,554万人)の2割弱が何らかの支援が必要な状況
- ↑↓
- 世帯に介護が必要な人を者がいる場合、同居家族が主な介護を担う割合は約6割
  - 介護保険制度の導入以降も同居家族が介護の大半を担っている

介護が必要な人を支える公的サービスは十分に整備されているとは言い難い  
そもそも、介護者支援は介護保険制度に組み込まれていない

## 家族介護が社会問題化する背景

## 家族のカタチの変容 - 家族類型の推移



2040年 世帯数推計

病不安 手元に携帯 夫人食事に近い

### 高齢者独居 加速

ひとり暮らしの世帯数の増加に伴って、高齢者の生活が不安定になり、手元に携帯する高齢者の割合が増加している。特に、高齢者の食事に近い状態での生活が求められる。

### 東京 未婚増も背景

東京では未婚者の増加も、高齢者独居の加速の一因となっている。

1 日曜日 2019年(平成31年)4月20日(土) 朝刊

### 2040年 独居世帯3割超す

高世帯数増加 全都道府県で

降圧目標130に下げ

高血圧学会 1000万人 案増加か

2019年 2040年

都道府県	2019年	2040年
北海道	1,140	1,140
青森県	1,140	1,140
岩手県	1,140	1,140
宮城県	1,140	1,140
秋田県	1,140	1,140
山形県	1,140	1,140
福島県	1,140	1,140
茨城県	1,140	1,140
栃木県	1,140	1,140
群馬県	1,140	1,140
埼玉県	1,140	1,140
千葉県	1,140	1,140
東京都	1,140	1,140
神奈川県	1,140	1,140
新潟県	1,140	1,140
富山県	1,140	1,140
石川県	1,140	1,140
福井県	1,140	1,140
山梨県	1,140	1,140
長野県	1,140	1,140
岐阜県	1,140	1,140
静岡県	1,140	1,140
愛知県	1,140	1,140
岐阜県	1,140	1,140
愛知県	1,140	1,140
三重県	1,140	1,140
滋賀県	1,140	1,140
京都府	1,140	1,140
大阪府	1,140	1,140
兵庫県	1,140	1,140
奈良県	1,140	1,140
和歌山県	1,140	1,140
徳島県	1,140	1,140
香川県	1,140	1,140
愛媛県	1,140	1,140
高知県	1,140	1,140
福岡県	1,140	1,140
佐賀県	1,140	1,140
長門県	1,140	1,140
熊本県	1,140	1,140
大分県	1,140	1,140
鹿児島県	1,140	1,140
沖縄県	1,140	1,140

2019年4月20日毎日新聞朝刊

## 加速する高齢者独居の暮らし (1)

- 国立社会保障・人口問題研究所の統計結果より
- 2040年には、全世帯に占めるひとり暮らし世帯(単身世帯)の割合が全都道府県で30%超。とくに、東京、神奈川、京都、大阪など8つの都道府県では40%を上回る(全国平均39.8%、東京48.1%で最も高い割合)。
  - 総世帯数は、2015年→2040年で5333万世帯→5076万世帯に減少。一方、ひとり暮らし世帯は1842万世帯→1994万世帯に増加。ひとり暮らし世帯の増加率は、埼玉、千葉、神奈川など都市部で12~20%と高くなっている。
  - とくに、高齢のひとり暮らしは、65歳以上で896万世帯(17.7%)、75歳以上で512万世帯(10.1%)。29の都道府県で10%を超えると推計される。

## 加速する高齢者独居の暮らし（2）

一国立社会保障・人口問題研究所の統計結果より

- ・ 2040年の東京では「2軒に1軒がひとり暮らし」。とくに、高齢のひとり暮らし世帯の増加が加速する。
- ・ 家族のカタチの変容の背景には、人口減少、都市への一極集中、未婚化があるとされる。とくに、都市での未婚化が著しい。
- ・ 2015年の国勢調査によると、生涯未婚率（50歳までに一度も結婚したことのない人の割合）は、全国平均で男性23.37%、女性14.06%であるが、東京都では男性26.06%、女性19.20%と全国平均を上回っている。

## 家族のカタチの変容

- ・ 日本の「家族のカタチ」は短い期間で大きく変容
- ・ 変化に要する時間が「短期間」であったことは、諸外国と比べて日本の少子高齢化のスピードがとても早いことをみても明らか。
- ・ （たとえば、日本の高齢化率は、1970年7.1%から1994年の14.1%までの24年間で約2倍に。2倍になるのに要した時間は、イタリア61年、スウェーデン85年、フランス115年かかっている。ちなみに、韓国は日本を上回るスピードで高齢化が進行している。）
- ・ 「家族のカタチ」の変化は、言い換えると、これまで社会の前提とされていた「標準家族（夫婦と子ども二人）」が標準ではなくなるという状況を生み出す。

## 対象別・領域別の社会政策

複数の政策・課題の狭間のなかでこぼれ落ちてきた問題としての家族介護

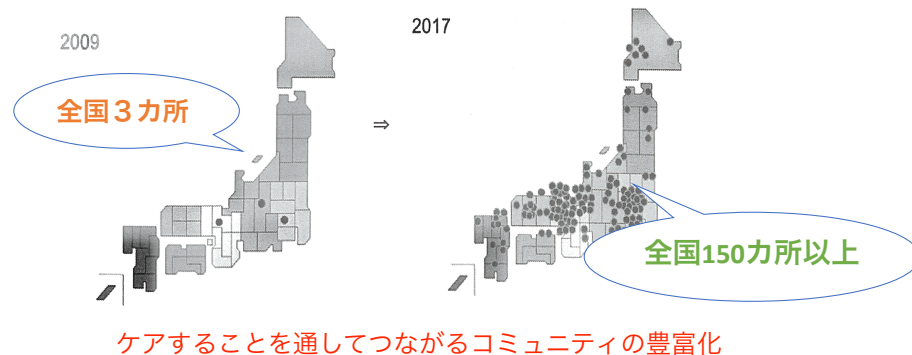


## 家族介護者を社会で支える仕組み

男性介護者と支援者の全国ネットワークの実践事例

## 男性介護者の会や集いの増加

- 2009年から2017年の変化



Male caregiver and supporters' nationwide network

### 男性介護ネットとは？

すでに介護者の3人に1人は男性が占める時代。男女が共に介護を担う社会という視点から見れば喜ばしいことには違いありません。

しかし他方で、男性介護者は、家事や介護のスキルを獲得する機会に乏しく、孤立化しがちであると指摘されています。

私たちは、介護する側もされる側も、家族介護者の男性も女性も、誰もが安心して暮らせる社会になるように、次の目的で活動しています。

ひとりじゃない。生きる勇気がわいてきた。

◎入会案内◎

男性介護ネット  
http://dansen-kaigo.jp/

- 1 各地で誕生しつつある男性介護者の会や支援活動について、相互の交流や情報交換を促進するため、そして、男性介護者の孤立の解消と地域を基盤とした男性介護者相互の支え合いの仕組みづくりを支援します。
- 2 家族介護者支援についての調査研究や政策提言も、積極的に行います。

男性介護者と支援者の全国ネットワーク (略称: 男性介護ネット) は2009年3月に発足し、男性介護者と支援者の全国的なネットワークづくりをすすめています。

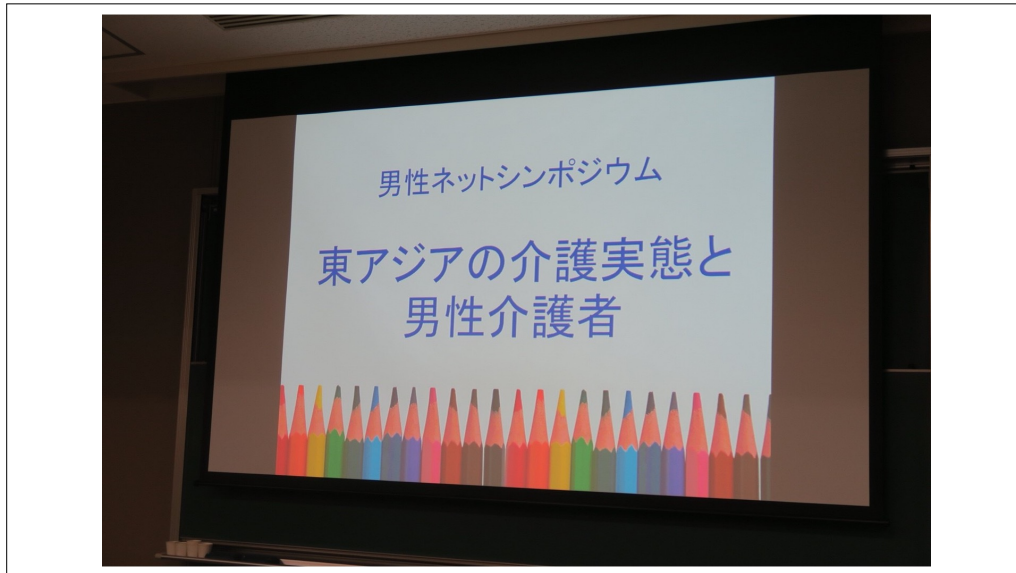
◎「男性介護ネット」の取り組み

- 男性介護者の調査・研究の実施  
男性介護者の介護実態を明らかにしながら、介護保険など介護支援制度のあり方や介護と仕事の両立、介護と経済的困窮などの介護に関する課題・研究を実施し、要介護者支援と共に家族介護者支援の必要性について積極的な政策提言を行います。
- 交流会・ワークショップ  
全国の介護実態や 支援体制との交流を促進。東京・京都・長野等で男性介護者交流会を開催し、会員相互の交流、介護の情報交換をすすめます。各地域でワークショップを行い、家族介護者の目標から「こうありたい！」介護取組を考えます。
- 体験記の募集・発行  
介護者の「体験記」は社会の共有財産です。「体験記」を募集し、その中から興味深い体験から学ぶ、行く手を明るくしてくれませんか。読者のように手紙に書いて、繰り返し読み直そうと思っます(読者の権利あり)
- 情報発信  
http://dansen-kaigo.jp/  
会報「男性介護者ネットワーク通信」を発行し、各地の男性介護者の会や支援活動の取り組みの紹介、介護保険情報、会報の介護のアドボカシーなど、様々な情報を紹介します。ホームページには、情報発信の他にも、男性介護コラムやおたより、相談・交流の投稿ができるコーナーも設けています。

## 男性介護者と支援者の全国ネットワーク (略称：男性介護ネット)

- 2009年3月京都で発足
- 会員1000人 (在籍数700人弱:2020年3月現在)
- 小さいが、47都道府県に1人以上の会員が在籍
- 取り組み内容
  - 男性介護者に関する調査研究、交流会・ワークショップの開催
  - 「介護体験記」の発行、情報発信
- 「女性であれば当然視され、社会からは支援の対象として認知されることもなかった生活の事柄が、いざ男性が対象となるとなぜ社会問題となるのか？この社会に深く根を下ろすジェンダー規範を乗り越えていくにはどうすればいいのか。この課題に男性たちのケアのコミュニティはどう関わり得るのか？を問い続ける10年間の活動だった」 (男性介護ネット事務局長 津止正敏さん)





## 介護体験記への反響

- ・「父（91歳）も母（87歳）を介護している。父にも読んでほしい」
- ・「父の気持ちが知りたい」
- ・「父（91歳）と二人で母（84歳）を介護している。父が読みたいというので」
- ・「娘の嫁ぎ先でも同じようなことが」
- ・「介護の学習の旅行や集会には出席できにくい状態である。また、話し合う友人もほとんど他界。講演会での医学的な一般的講演も参考になるが、ピンときにくい。体験記を読みそれぞれの貴重な介護体験が心をうち、行く手を明るくしてくれました。辞書のように手近において繰り返し読もうと思っています」（男性、89歳）



## なぜ男性介護者支援なのか？

- ・訪問看護師の「大丈夫ですか？」に「ハイ」としか答えず弱みを見せない男性たち
- ・介護の方法を伝えても「俺には俺のやり方がある」と俺流介護に邁進する男性たち
- ・仕事のように介護をする男性たち
- ・女性ばかりの介護者の集いで居場所のない男性たち

・・・「男の人たちだけで集まったら？」

## ケアすることを介してつながる男性介護者

- ・「居酒屋」を貸し切って男性介護者の会をスタート。
- ・いつもは寡黙な男性たちもお酒がはいると途端に饒舌に。
- ・失敗談も武勇伝に変わる当事者コミュニティ。
- ・「自分はこうやっている。あんたに合うかどうかはわからないけど」と互いに折り合い、「経験知」を共有し合う場に。
- ・支援する人、支援される人の区別なく、ケアを介してゆるくつながるコミュニティが形成されていく。

## コロナ禍の男性介護者たち

- ・新型コロナ感染拡大による福祉サービスの停止、縮小  
→各地で起こる「介護崩壊」
- ・各地で日常の介護の悩みや気づきを共有する「集い」や「交流会」の中止  
→孤立する家族介護者
- ・YouTube「ケアメンチャンネル」の開設  
→「誰もひとりにしない」を合言葉に、恐る恐るzoomシステムを使った交流をスタート

YouTube 検索

ケアメンJAPAN-男の介護-  
チャンネル登録者数 17人

ホーム 動画 再生リスト チャンネル フリートーク 概要

アップロード済み すべて再生

動画タイトル	再生時間	視聴回数	投稿日時
男性介護者と支援者の全国ネットワーク	8:50	0	4週間前
男性介護者 ネット 全国ネット	1:01:04	37	1か月前
男性介護者ネット ケアメン四国オンライン会議	49:08	4	2か月前
男性介護者 ネット 山陰ブロック	54:54	7	3か月前
男性介護者 ネット 北陸ブロック	23:18	4	4か月前
男性介護者 ネット	22:02	9	5か月前
男性介護者 ネット 東北ブロック	41:43	14	6か月前
男性介護者 ネット 山陰ブロック	17:37		
男性介護者 ネット 九州ブロック	25:24		
男性介護者カフェ金沢 YAROH!!	30:14		
男性介護者 ネット 山陰ブロック	35:21	21	10か月前
さぬき男 大いに介護を語る	30:54		

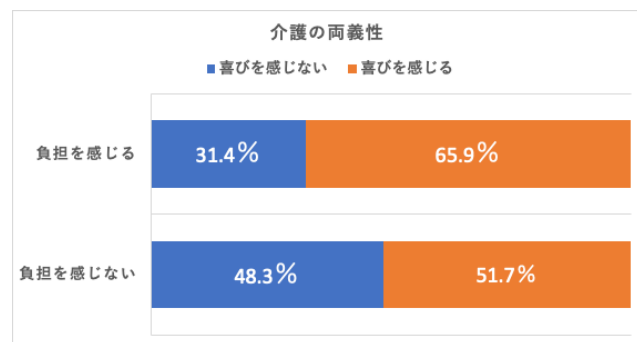
## 「男性介護者」との出会い

- 「男性介護者〇〇〇〇」と記した名刺を配る男性介護者
- 家族の介護を続けるためには、自分自身が心身ともに健康でなければならないと「健康体操」を考案された男性介護者
- 要介護度が高いほうが、介護歴が長いほうが先輩！？
- 涙ながらに自らの介護体験を語る男性介護者
- 「鬼の形相の介護」から「まさこちゃんへの介護」へ

## ケアするコミュニティの実現に向けて

## ケアの両義性

- 「たしかに介護は辛い」でも「辛いだけじゃない」



『男性介護白書』 (2007) より

## 介護の経験がもたらしてくれるもの...

できれば認知症にならないほうがいいですし、認知症の人の介護など経験しないほうがいい。私だって当然そう思います。

しかし、もし認知症に巡り合ったらなら、その経験は必ず自分の人生にプラスにすることができる。以前よりもきっと深い人生を送れるようになる。

だから私は認知症介護の経験を悲しいだけのこと、嫌なことだけのことと決めつけるのは間違っていると思う。

(高見国夫「本人も家族も幸せになる介護」『文藝春秋』2017年8月号)

# 「介護のある暮らし」という「新しい生き方」

- ・介護はつらくて大変、でもそれだけではないのかもしれない。
- ・もしかすると、「介護のある暮らし」こそ、人生をより豊かにしてくれる「新しい生き方」の一つなのでは？
- ・介護体験記に寄せられる思い、介護者の会で自らの失敗談を泣き笑いとともて教えてください男性介護者は、そのことに気づいた人たちなのではないだろうか。
- ・生産性や効率性ばかりを追い求めるコミュニティではなく、相互に依存し合う関係＝〈持ちつ持たれつの関係〉を生み出し、依存することを肯定するコミュニティづくりを目指してわたしたちは何ができるのだろうか？

# 参考文献 ご関心ある方はぜひどうぞ...



『男が介護する 家族のケアの実態と支援の取り組み』  
津止正敏 著 中公新書 2021年